

第４回 ディスカッションテーマ（ディベート方式）

日 時 ２０２２年１１月２６日（土）１３：００－１６：００

会 場 ＴＫＰ名古屋駅前カンファレンスセンター・８階「ホール８Ａ」

名古屋市中村区名駅 2-41-5 CK20 名駅前ビル ８階

対象学年 新 J2（2021 年期生）

テーマ①：アフターコロナでの監査について

コロナ禍においてリモートを利用した監査業務が行われました。アフターコロナにおいてリモートを利用した監査について、以下 A 派・B 派に分かれて議論しなさい。

A 派：コロナ前に戻り、原則往査とすべき

B 派：原則リモートを利用した監査を継続すべき

テーマ②：有価証券報告書の経理の状況以外に関する監査の是非について

非財務情報の重要性が増しており、有価証券報告書における記述情報の開示量も増加しています。有価証券報告書の経理の状況以外についても監査対象とすべきかどうかについて、A 派、B 派に分かれて議論しなさい。

A 派：監査対象とすべきである

B 派：監査対象とすべきでない

以上

第 4 回ディスカッション 要領（補習生配布資料）

▼ ディベートとは

- ◆ ある議論に対して肯定・否定の二つの立場に分かれ、それぞれの論点を分析・検証し、論証を行い、聴衆や審査員等への説得を通じてより説得的な論を展開するという議論の形態。

▼ 相手に勝つことが目的ではない。

- ◆ 討論はプロセスの一部で勝ち負けは問題ではない。

▼ ディスカッションとの違い

- ◆ 自分の立場を言い合うのではなく、自分の意見を脇において、客観的に両方の立場に立って行う。
- ◆ 相手の意見に対して反証する必要がある。

▼ お願い事項

- ◆ テーマについて事前に自分は、どちらの立場を支持するか考えてくる。

▼ 基本的な進め方

- ◆ 2つのチームが出てきて、A 案と B 案で議論を行う。
- ◆ チームを入替えて 2 回行う。
- ◆ ディベートをしないチームはオーディエンスとなり、ディベート後、質問や自分たちの意見を述べてもらう。審査役として勝敗も判断する。（テーマ 1 は全体で行うためオーディエンスなし）
- ◆ テーマ司会者はディベートをしないチームにも公平に意見を求める。
（従って、最初の時間に全てのテーマについてしっかり考えておく必要がある。）
- ◆ ディベート中のタイムあり。
- ◆ オーディエンスは、○×のプラカードを用いてどちらが優勢か表明する。

▼ ディベートの進め方

各チームホワイトボードを使いながら立論を行う。	4 分	2 分×2 チーム
相手の立論に対しどのような反駁を行っていくのか作戦を練る	3 分	
立論に対し、反駁を行う。2 往復する	8 分	2 分×2 チーム×2 回
各チーム 3 分の作戦タイムを 1 回ずつ使える	6 分	3 分×2 チーム
結論	2 分	1 分×2 チーム
計	23 分	